全国高総文祭で県勢活躍

国立劇場での公演に向け練習に励む和太鼓部員
＝17日午前、沼津市の飛龍高

和太鼓で飛龍がV

「優秀校」公演へ特訓

沼津市の飛龍高和太鼓部が、8～10日まで長野県伊那市で開かれた第42回全国高校総合文化祭の郷土芸能部門の和太鼓のカテゴリーでトップに当たる優秀賞に輝いた。

大会には部員18人が出場し、「無限」と題した約8分のオリジナル曲を演奏した。体全体を使った力強くキレのあるばちさばきと、タメや間を織り交ぜたテンポの速い曲展開が特徴で「壮大さと永遠を表現した」という。

部員は伊豆市の和太鼓チーム「天城連峰太鼓」の指導を受け、年間約120公演をこなして腕を磨いた。鈴木颯太部長(18)は「ずっと音が合わず苦労した箇所も、本番はぴったり合い満足の出来だった」と振り返った。

同部は、25、26日に国立劇場（東京都）で開かれる全国大会の優秀校を集めた演奏会への出演が決まっている。部員は、次の大舞台に向けた練習に熱を入れる。鈴木部長は「『仲間の音を聴く』という点を重視し、さらに良い演奏を目指す」と意気込んだ。（東部総局・中原僚介）

静岡新聞

©静岡新聞社　無断複製転載を禁じます